

東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る事後調査報告書令和元年12月分の正誤表
下記のとおり、追記するとともに誤記について訂正いたします。

(誤)

6. 調査結果

(1) 大気質

1) 熱回収施設煙道において、排ガスの排ガス量、硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじん、塩化水素の測定を実施した。

① 測定日

熱回収施設煙道 令和元年12月18日 (1号炉)

令和元年12月17日 (2号炉)

② 測定結果

熱回収施設煙道の測定結果を表4に示す。

③ 結果の検証

熱回収施設煙道の測定結果において、すべての項目において計画値を下回っていた。

(正)

6. 調査結果

(1) 大気質

1) 熱回収施設煙道において、排ガスの排ガス量、硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじん、塩化水素の測定を実施した。

① 測定日

熱回収施設煙道 令和元年12月18日 (1号炉)

令和元年12月17日 (2号炉)

② 測定結果

熱回収施設煙道の測定結果を表4に示す。

③ 結果の検証

熱回収施設煙道の1号炉の測定結果において、乾きガス量(O₂12%換算値)が計画値を上回っていた。原因は、気温の上昇により白煙防止装置の空気量が減少し、酸素濃度が計画値の14.1%を下回ったことである。その他の項目においては計画値を下回っていた。

(誤)
表4の参考(供用時1年目)

	項目	計画値	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	
1号炉	測定日		平成30年 3月20日	平成30年 4月25日	平成30年 7月25日	平成30年 8月1日	平成30年 10月26日	平成30年 12月11日	
	排ガス量	湿りガス量	30,100 m ³ _N /h	23,000	17,500	15,500	15,800	16,100	15,500
		乾きガス量 (O ₂ 12%換算値)	26,100 m ³ _N /h (20,000 m ³ _N /h)	20,400 (25,151)	14,000 (18,044)	12,300 (15,853)	12,500 (15,694)	12,900 (16,700)	12,900 (14,900)
	排ガス濃度 (O ₂ 12%換算値)	硫黄酸化物	20ppm	<1	5	3	3	3	1
		窒素酸化物	30ppm	17	14	14	16	9	10
		ばいじん	10mg/m ³ _N	<1	<1	<1	<1	<1	<1
		塩化水素	20ppm	2	4	6	5	3	3
水銀		0.05mg/m ³ _N	<0.003	-	-	0.0001	-	-	
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ _N	0.0020	-	-	0.0025	-	-		
2号炉	測定日		平成30年 2月17日	平成30年 4月9日	平成30年 6月26日	平成30年 9月20日	平成30年 10月11日	平成30年 12月12日	
	排ガス量	湿りガス量	30,100 m ³ _N /h	18,100	18,600	17,200	19,600	17,000	26,300
		乾きガス量 (O ₂ 12%換算値)	26,100 m ³ _N /h (20,000 m ³ _N /h)	15,100 (12,468)	15,000 (19,500)	13,900 (17,916)	15,900 (18,020)	14,200 (15,500)	23,200 (22,200)
	排ガス濃度 (O ₂ 12%換算値)	硫黄酸化物	20ppm	2	3	2	<1	<1	1
		窒素酸化物	30ppm	17	14	16	14	16	14
		ばいじん	10mg/m ³ _N	<1	<1	<1	<1	<1	<1
		塩化水素	20ppm	4	5	2	4	3	3
水銀		0.05mg/m ³ _N	<0.003	-	-	0.00031	-	-	
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ _N	0.00027	-	-	0.00052	-	-		

※1回目と3回目の1号炉の測定については、該当月が未実施のため翌月に測定。

※4回目の2号炉の測定については、該当月が未実施のため翌月に測定。

※<は定量下限値未満(平成30年4月以降の水銀を除く)であることを示す。

※水銀について平成30年4月1日の改正大気汚染防止法の施行により以下となる。

<は検出下限値未満であることを示す。

()は検出下限値以上、定量下限値未満を示す。

(正)

表4の参考（供用時1年目）

項目		計画値	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	
1号炉	測定日		平成30年 3月20日	平成30年 4月25日	平成30年 7月25日	平成30年 8月1日	平成30年 10月26日	平成30年 12月11日	
	排ガス量	湿りガス量	30,100 m ³ /h	23,000	17,500	15,500	15,800	16,100	15,500
		乾きガス量 (O ₂ 12%換算値)	26,100 m ³ /h (20,000 m ³ /h)	20,400 (15,867)	14,000 (18,044)	12,300 (15,853)	12,500 (15,694)	12,900 (16,700)	12,900 (14,900)
	排ガス濃度 (O ₂ 12%換算値)	硫黄酸化物	20ppm	<1	5	3	3	3	1
		窒素酸化物	30ppm	17	14	14	16	9	10
		ばいじん	10mg/m ³ _N	<1	<1	<1	<1	<1	<1
		塩化水素	20ppm	2	4	6	5	3	3
		水銀	0.05mg/m ³ _N	<0.003	-	-	0.0001	-	-
	ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ _N	0.0020	-	-	0.0025	-	-	
	2号炉	測定日		平成30年 2月17日	平成30年 4月9日	平成30年 6月26日	平成30年 9月20日	平成30年 10月11日	平成30年 12月12日
排ガス量		湿りガス量	30,100 m ³ /h	18,100	18,600	17,200	19,600	17,000	26,300
		乾きガス量 (O ₂ 12%換算値)	26,100 m ³ /h (20,000 m ³ /h)	15,100 (16,107)	15,000 (19,500)	13,900 (17,916)	15,900 (18,020)	14,200 (15,500)	23,200 (22,200)
排ガス濃度 (O ₂ 12%換算値)		硫黄酸化物	20ppm	2	3	2	<1	<1	1
		窒素酸化物	30ppm	17	14	16	14	16	14
		ばいじん	10mg/m ³ _N	<1	<1	<1	<1	<1	<1
		塩化水素	20ppm	4	5	2	4	3	3
		水銀	0.05mg/m ³ _N	<0.003	-	-	0.00031	-	-
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ _N	0.00027	-	-	0.00052	-	-		

※1回目と3回目の1号炉の測定については、該当月が未実施のため翌月に測定。

※4回目の2号炉の測定については、該当月が未実施のため翌月に測定。

※<は定量下限値未満（平成30年4月以降の水銀を除く）であることを示す。

※水銀について平成30年4月1日の改正大気汚染防止法の施行により以下となる。

<は検出下限値未満であることを示す。

()は検出下限値以上、定量下限値未満を示す。